North East West South 日本各地の話題

落合志保子３連覇（愛知県選手権）

8 月 26 日愛知県選手権大会が新城市で開催された。標高 500m のテレインに少し涼しさを感じながらも選手権を目指し、熱いレースを展開した。

レースは年齢別に競われ、男子高校生の部では東海高校の種市雅也さんや女子大学生部門では椙山女学園大学の星美沙さんの JWOC 組が優勝した。

愛知県選手権は来る 11 月 24 日に長崎で開催される全日本リレー選手権の愛知県代表選考会も兼ねており、年齢の壁を越えてタイムの比較のため、全クラス同一コースで競われている。全体でベストタイムを出した参加者に与えられる愛知県選手権は、男子は成長著しい名古屋大学の細川知希さんが先輩の松井健哉さん谷川友太さんを抑えて今年のチャンピオンに輝いた。また女子は WOC2005 に出場したルーパーの落合志保子さんが水野日香里さんや大学生を抑えて獲得した。

今年の選手権者　落合志保子さん（ルーパー）と細川知希さん（名古屋大）

JWOC に参加した星さんも大学生部門で優勝

オリンピック熱 マイナー競技脚光

中日新聞 9 月 4 日夕刊によるとアーチェリーやフェンシングでは団体で表彰台に上がるなど、ロンドン五輪では「マイナー」とされた競技で活躍が目立った。これまで知られていなかったスポーツの魅力が、五輪をきっかけに一般にも発信され、初心者の教室では受講者が殺到する現象も起きている。関係者はすそ野の広がりを期待している。

「指導を初めて 15 年。新規加入をお断りするのは初めてです」。名古屋市の瑞穂運動競技場で教えるアーチェリーチームの方は、殺到する申込に困惑している。生徒は小学 4 年生から 60 代まで。入会希望者は例年 2，3 人だったが今年はすでに 20 人以上となり、指導できる人数を超えてしまったからだ。

アーチェリー人気は、女子団体で銅メダルを獲得した蟹江美貴選手が地元の愛知県岡崎市出身であることも関係ありそう。

見学に来ていた高校生は「地元の選手の活躍にハラハラし、自分もやりたいと思った。五輪に出たい」と夢を語っていた。アーチェリーチームの方も「8 年前のアテネ五輪で山本博さんが銀メダルを取ったときはこれほどではなかった。身近にメダリストがでた影響は大きい」と話す。

三重県アーチェリー協会が主催する教室も「五輪に行きたい」という子供たちや趣味として興味を持った社会人で満員になった。協会事務局は「三重県には中学のアーチェリー部はない。この教室で中学から始めれば五輪も夢ではない」と話す。